

市民講座

ペロブスカイト太陽電池が切り拓く、エネルギーの未来 ～未来を創る研究者へ、教科書の先にある『正解のない世界』～

近年、次世代太陽電池として世界が熱い視線を注ぐ「ペロブスカイト太陽電池」。

従来のシリコン型に比べ、極めて薄く、軽く、柔軟性に富むこの技術は、ビルの窓や壁など、あらゆる場所を「発電所」に変えるポテンシャルを秘めています。

この革新の「扉」を開いたのは、ノーベル賞候補として世界がその動向を注視する宮坂力先生です。

2009年、宮坂力先生が世界で初めて発表したこの技術は、当初は誰も見向きもしない小さな発見に過ぎませんでした。そこからいかにして世界を揺るがすイノベーションへと進化したのか？そこには、幾多の失敗と、それを跳ね返した執念の軌跡がありました。

本講座では、単なる技術解説にとどまらず、「ゼロからイチを創り出す研究者の思考回路」や、実験室の熱量をそのままにお伝えします。「世界を変える技術」とはどういうことか。科学の面白さの真髓に触れ、未来の自分の姿を重ね合わせてみてください。
未来の科学者の卵である高校生・高専生、そして新しい技術に興味をお持ちの一般の方々のご参加を、心よりお待ちしております。

講師紹介：宮坂 力 先生

桐蔭横浜大学特任教授、東京大学先端研フェロー
ペクセル・テクノロジーズ株式会社代表取締役

(ご略歴)

神奈川県鎌倉市出身。

1976年に早稲田大学工学部応用化学科を卒業し、1981年に東京大学大学院博士課程を修了。富士写真フイルム（現・富士フイルム）足柄研究所に入社。

2001年より桐蔭横浜大学教授を務め、現在は同大学特任教授。

2004年にペクセル・テクノロジーズ株式会社を設立。

2009年に世界で初めて「ペロブスカイト太陽電池」を発表。

2017年に「クラリベイト・アナリティクス引用栄誉賞」を受賞。

2019年応用物理学会業績賞、2023年朝日賞、2024年日本学士院賞など、数々の権威ある賞を受賞されている、太陽電池研究の世界的権威です。



同時開催：12th International Conference on Molecular Electronics and Bioelectronics
(第12回有機分子・バイオエレクトロニクス国際会議 (M&BE12))

対象

理系を志す中学生，高校生
高等専門学校生（高専生）
大学生（文系理系問わず）
一般市民の皆様

定員

200名（現地）
20校程度（Zoom）
（オンラインは学校関係のみ）

※ 予定数に達し次第 締切ります

開催場所

神戸国際会議場 および Web
(兵庫県神戸市)

受講料

無料

開催日時

2026年6月16日（火）
15:00～16:00

申込締切

2026年5月26日
17:30（厳守）

申し込み：オンラインで受付

(<https://annex.jsap.or.jp/support/division/MandBE/mbe-public>)

問合せ先：応用物理学会 有機分子・バイオエレクトロニクス分科会

市民講座担当（大阪工業大学 廣芝伸哉、nobuya.hiroshiba@oit.ac.jp）

